

セミナー開催報告

地域ものづくり産業活性化のための「3D勉強会」オープンセミナー

HI-Cubeでは、今年より浜松地域のものづくり産業活性化のために、浜松市、(公財)浜松地域イノベーション推進機構と共同で「3D勉強会」の取り組みを開始しています。その第一弾、オープニングイベントとして1月24日(金)、グランドホテル浜松で第1回セミナーを開催しました。

世間では3Dプリンターが「第三の産業革命」と喧伝され、各地でぞくぞく実用化に向けた取り組みがスタートしています。しかし、3Dプリンターは大きな可能性をもつとしても新しい製造装置のひとつに過ぎず、真の意味でものづくり革新を起こすには「3Dデータで開発から製造まで一貫したシステムと方法の改革」が必要です。そのことをさまざまな観点から、しかも今後実際にもものづくり革新の主人公になる地域企業と学び・議論する場としてこの3D勉強会を位置づけています。

第1回は「ものづくり3Dテクノロジー」の先進企業として富士通のプリンシパルコンサルタント熊谷博之氏を招きお話しをうかがいました。国内でのものづくりにこだわり、3Dプリンターを含む3Dシステムを各開発・製造拠点で導入。携帯電話から各種コンピュータ、通信システムまで多くの製品・工程で3Dデータによるものづくりを実践されているご経験、そして実践の中から生まれた各種ノウハウを外販されようとしていることを、豊富な資料に基づき紹介いただきました。

講演後、活発なディスカッションが行われ、地域企業の3Dものづくりに対する関心の高さが伺えました。

尚、「3D勉強会」は今後、継続して月1回ペースでさまざまな実務者・専門家を招き開催する予定です。



HI-Cubeジャーナル次号にて「3D勉強会-第2回」の開催の様子をお伝えいたします。

ビジサポ会

~中小企業のデザイン発想、お客様視点で考えるものづくり!~ 「デザイン活用セミナー」

【講師】静岡文化芸術大学 デザイン学部 教授 谷川憲司氏



12月17日(火)、HI-Cube 2階会議室において ~中小企業のデザイン発想、お客様視点で考えるものづくり!~ 「デザイン活用セミナー」を開催しました。

中小企業のものづくり技術や能力は高いレベルにあっても、デザインのレベルは一部を除いて高いレベルに達してはいません。また、多くの企業がデザインを表面的な意匠の問題としかとらえていないのも現実です。そこで今回は、静岡文化芸術大学 デザイン学部教授の谷川憲司先生をお招きし、中小企業の目指すべきデザイン活用はどうすべきかを、デザイナーそして新商品開発の豊富な知識や経験を通してお話頂きました。

まず、先生がかつてデザインや開発に携わられた腕時計の価格当てクイズを行いました。3千円の時計と3千万円の時計の違いは何か? それら付加価値の源泉がデザインであることを示されました。そもそもデザインとは何か、商品価値とは何か、そして近年のデザインのトレンドであるユニバーサルデザインや人間中心のデザインについて、事例を示しながら分かりやすく解説されました。

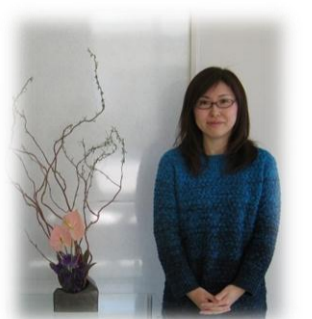
また、HI-Cubeが取り組んでいる3Dプリンター活用に関しても言及され、デザインも含めたものづくりプロセスの大きな革新につながることを紹介されました。

最後に先生が現在地域の中小企業有志と取り組んでおられるCRP (Customer Relationship Production) 研究会にも言及され、ものづくりの革新にデザインをいかに活かすか地域産業振興の鍵であることを強調されました。



HI-Cube事務スタッフよりご挨拶

IM室事務スタッフの新村がHI-Cubeを離れることとなりました。入居・卒業企業および関係者の皆様には大変お世話になりました。皆様のご活躍を心より願っております。



【編集者・発行人】

中小機構 関東(独立行政法人 中小企業基盤整備機構 関東本部)
浜松イノベーションキューブ(HI-Cube) IM室

〒432-8003 静岡県浜松市中区和地山3-1-7 [TEL] 053-478-0141 [FAX] 053-473-7221 [E-Mail] hi-cube-info@smrj.go.jp

<http://www.smrj.go.jp/incubation/hi-cube/>

ハイキューブ

検索

平成26年3月中旬発行